

視聴覚教育

NO.329
発行日
19.1.10
発行
岡崎市AVL
編集
現職研修委員会
学習情報部

視聴覚用語 「ピクセル」

画像を構成する最小単位で、「画素」「ドット」ともいう。ディスプレイで表示される画像はピクセルの集合体で、数値が大きいほうがなめらかな画像が表現できる。例えば、4メガピクセル対応のデジカメなら、4百万画素の画像を記録できるということになる。

教室のIT化は目前

現職研修委員会学習情報部長 山田賢平

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては平成19年の新春を迎え、決意も新たにそれぞれの職場、団体で活動をスタートしてみえることと存じます。

先日、大容量のSDカードを手にして、「こんなに小さいのに、どこにデータが入るの？」と驚嘆の声がアガりました。私の感覚では2時間の動画はVHSかベータのビデオテープの容量がふさわしく、ようやく最近のDVDディスクに慣れてきた矢先です。まさに昨年の流行語の「信じられナイー！」出来事でした。ミニSDにおいてはなおさらで、まさにコンタクトレンズ級の大きさです。落としたら大変なことに。このように、メディアが小さくなる一方で、どんどん大きくなっているのがテレビ画面です。薄くなったなどと思った途端、画面の大きさは止めどもなく広がるばかりです。これは「学び」

においては大変いいことです。先端技術は高性能で小さいものをより小さくしてきましたが、液晶やプラズマディスプレイに代表される鮮やかで大きい画面は価格も下がり、すぐ手が届くところになっています。

昨秋、東京で参観した全国大会の公開授業では各教室に50インチの大型ディスプレイが設置してありました。大きく鮮明で、動画を見るだけでなく、静止画でも文字情報でも苦もなく見ることができ



るのです。教室で行き交う情報のやり取りに、質量共にバリエーションを広げるものだと確信できました。文字が中心の黒板に加えて、動画、静止画、図表、そして音声がいずれも表現でき、有力な情報の発信源となる大型ディスプレイの設置、まさに教室のIT化は目前です。

Ⅱ視聴覚あれこれⅡ

入賞おめでとうございます！

《第5回全国こども科学映像祭》

全国こども科学映像祭は、科学の楽しさ、すばらしさを、ビデオカメラで撮影したり、編集作業をしたりする中で培ってほしいと毎年行われている事業で、今年度は、岡崎市内の小中学生の応募の中から、次の2部門で入賞しました。

●中学生部門 優秀作品賞

「水のふしぎ」 岡崎市立城北中学校 理科部

●小学生部門 佳作

「チョウのひみつをさぐれ」

岡崎市立生平小学校 6年 橋本 大輝

松下教育研究財団

「第33回実践研究助成」募集開始！

松下教育研究財団では、さまざまな視聴覚メディア・情報通信メディアを効果的に活用し、教育課題の改善に取り組む実践的な研究に対して、研究助成の募集を行っています。

〈応募資格〉小・中・高等学校・特別支援教育

諸学校、教育研究グループ（教職員によって構成）

〈助成金額・件数〉助成金50万円×70件

〈応募方法〉所定の「申請書」に必要事項を記入する。「申請書」は財団ホームページよりダウンロードする。

<http://www.nief.or.jp>

〈締め切り〉平成19年1月31日（水）消印有効
※ぜひ応募を！！

実践報告Ⅱ

パソコンで作曲に挑戦

「にこにこ山」のテーマソングをつくらう」

秦梨小学校 高橋 恵理子

本校には子供たちが大好きな「にこにこ山」と呼ばれる裏山がある。テーマソングを作り、口ずさむことで、にこにこ山に対していつそう親しみを感じることができたらすばらしいと思い、4年生の総合学習として実践を行った。

今回利用したパソコンソフトは、「ハイパーキューブねつとJr2」の「音楽」である。画面上の五線譜に音符や休符を入力し、音楽を作ることができる優れたもので、音楽は苦手という児童でも、抵抗なく楽しく曲づくりができる。

リズムづくりをする過程では、一小節の拍数にあうように、拍数を満たすとカーソルが自動的に次の小節に移動するようになっていて、ふしづくりでは、五線譜上でその音程のところをクリック

してもいいし、ツールバーから「鍵盤」ボタンを選び、クリックすることで音を入力してもいい。作成したふしは、もちろんその場ですぐに聴くことができる。演奏している場所も、順に



緑色で表示されていくので、不自然な部分や歌いにくい部分に気付き、改善することができた。今回は、総合学習の一環としてこのソフトを利用したが、音楽科のリズムづくり・ふしづくりでも十分活用できるだろう。

ⅡレッツトライⅡ

インターネットで地形の様子を調べる

中学1年生の授業では「身近な地域の調査」で地図記号や地形図について学習する。そのときに、地元の地域に関する地形図や空中写真を使って、できるだけ身近に地図を感じられるようなお薦めのサイトがある。

まずは国土地理院のHP(<http://www.gsi.go.jp/>)である。その中の「ウオッチーズ」をクリックすると、日本全国様々な地域の二万五千分の一の地形図を見ることが出来る。また空中写真コーナーもあり、地形図と対比させて調べることも出来る。

この空中写真では物足りないときには、以前このコーナーでも紹介されたソフト「Google Earth」を利用する。衛星からどんどん細分化して見ることが出来るので、土地利用の様子はもちろん、自分の住んでいる身近な地域を空から眺めて、ちょっとした浮遊感覚を楽しめる。

生徒たちも、地図と写真を比べることで、「学校がここだから、この斜面はこの山だよ。」と、よりくわしく地形を読み取るうと、集中して学習に取り組んでいる。



25000 分の 1 の地形図
(国土地理院)

(額田中学校学習情報主任 長谷川威全)

ライブフリーだよ

ふるさと岡崎メディアコンクール

応募ありがとうございました。

第4回ふるさと岡崎メディアコンクールに多数の応募ありがとうございました。昨年以上の153作品の応募がありました。現在、事務局にて審査を進めています。結果については、月報2月号で発表いたします。



また、2月10日(土)午前10時30分よりコミユニティサテライトオフィス大講義室(松阪屋岡崎店6F)にて表彰式並びに優秀作品発表会を開催いたします。多数の方の参加をお待ちしております。

●平成18年度行事・研究発表校ビデオの

ダビングサービス

今年度、市内で行われた教育行事や小中学校で行われた研究発表会の記録ビデオが完成しました。ダビング希望の方は、視聴覚ライブラリまでご連絡ください。

- ・中学校総合体育大会 ・おかざきっ子展
- ・中学校主張コンクール
- ・英語スピーチフェスティバル
- ・理科・技術家庭科作品展
- ・小中学校研究発表全体会(岩津小・大門小・六ツ美南部小・常磐小・城北中)